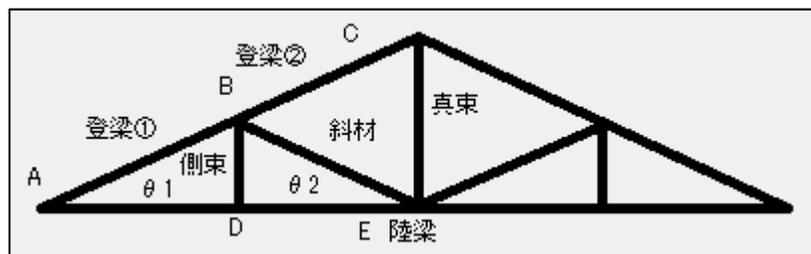


# トラス屋根構造 (TG2) の対応内容

## ■ 入力機能

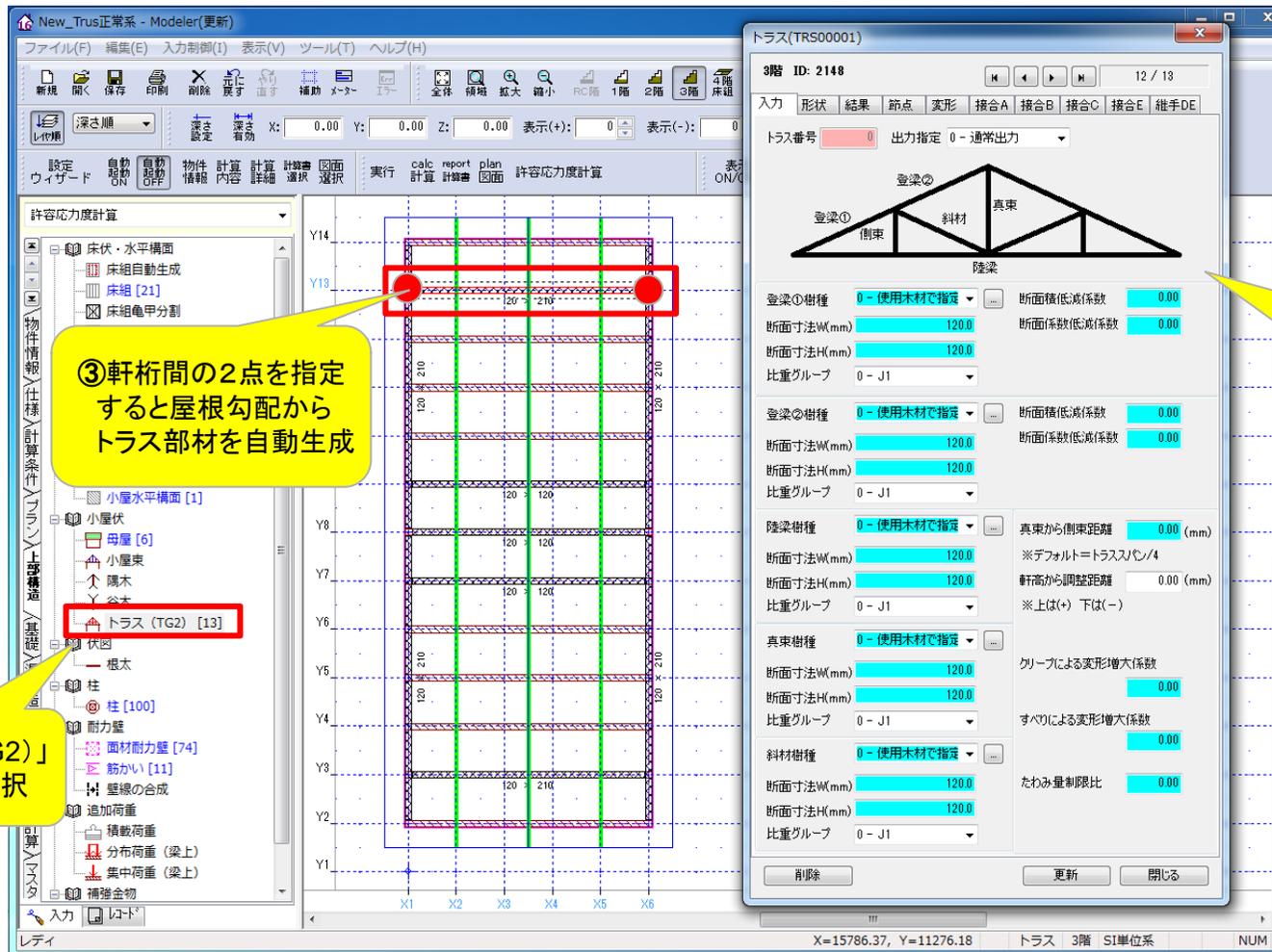
1. 屋根 (切妻) の属性に「トラス屋根」を追加
2. 軒桁間にトラス (始終点) を設定すると、屋根勾配からトラス部材を自動生成
  - ・合掌尻の部材角度  $\theta_1$
  - ・支点間距離 (トラスのスパン  $L$ )
  - ・真束 ~ 合掌尻間距離
  - ・側束 ~ 合掌尻間距離
  - ・真束 ~ 側束間距離 (初期値:  $L/4$ )
  - ・登り梁の部材長
  - ・真束の部材長
  - ・斜材の部材長
  - ・陸梁 ~ 斜材間角度  $\theta_2$



## ■ 計算・出力機能

1. 設計用荷重の算定
2. トラス部材の断面算定
  - ・登り梁: 座屈と曲げの複合検定
  - ・斜材: 座屈検定
  - ・真束: 引張検定
  - ・陸梁: 引張検定
3. トラス部材接合部の検定
  - ・合掌尻\_登り梁と陸梁の接合部
  - ・登り梁と側束、斜材の接合部
  - ・登り梁と真束の接合部
  - ・真束と斜材の接合部、および陸梁の継手
4. トラスのたわみ量と変形制限の検討
5. トラス荷重の下部材への荷重伝達処理
6. 構造計算書に「トラスの設計」章を追加
7. 3次元可視化ツールオプションに対応

# トラス (TG2) の入力イメージ



③軒桁間の2点を指定すると屋根勾配からトラス部材を自動生成

①「トラス(TG2)」コマンド選択

②「トラス」属性画面で各部材の樹種寸法などを設定

キングポストトラス(TG2)の入力イメージ